

# 神奈川大学資格教育課程通信

## 第 35 号

編集・発行 神奈川大学資格教育課程協議会

〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋 3-27-1

☎045-481-5661(代) 内2119

### 本学の教員養成に

### かかわる昨今の動向

経営学部教授  
教員養成カリキュラム委員会委員長

関口 昌秀

2019年度入学者から教員免許取得について改正教育職員免許法が適用されることになって

います。これに伴い、教職課程を有する大学は2018年度に審査を受け、教職課程の認可を受けることとなります。これを再課程認定申請といいますが、この申請書を作成するために2018年3月まで全国の大学は大変だったはず。

実はこの文は2018年1月に書いていますので、本学での再課程認定申請の書類はまだ出来上がっていません。教育職員免許法が改正されると概ね自動的に再課程認定申請をするというのがルールになっていきます。ただ、これほど大きな規模の再課程認定申請になったのは20年近くありませんでしたので、大学にとっては大変なことになりました。

多く勉強しなければならなくなりそうです。

勉強しなければならぬというのは、大学教員にとつても同じです。新科目を担当する教員は、再課程認定申請において、新しく設けられた事項の領域で、10年以内の研究業績があることを示す必要があるからです。「学び続ける」教員像というのは、いま学校現場の教員に求められている教員像ですが、教員養成を担当する大学教員こそが、何よりも「学び続ける教員」であることを求められているというわけです。

### 道徳の授業には 人生を支える大きな力がある

神奈川大学非常勤講師 根岸 久明



私は、今年度4月より本学の「道徳教育論」担当講師として勤務させていただいております。昨年度までは中学校の校長という立場でしたが、もともとは教員で先輩の影響から長年、道徳教育に携わってまいりました。

再課程認定申請は全国どの大学にも当てはまることですが、本学にはそれに加えて、さらに2つのことがあります。1つは2020年度に新学部を開設することです。もう1つは2021年度に新学部を含めたグローバル系の3学部が、みなとみらい新キャンパスに移転することです。

新学部は未定ですが、何らかの教科の教員免許を取得できるようにすることは間違いありません。2021年度に移転するのは、経営学部、外国語学部と新学部ですが、経営学部は湘南ひらつかキャンパスから移転します。その結果、原則として3キャンパスすべてに同一の教職科目を配置して教職課程を運営することが必要となります。この2年間をどのようにするか。各科目についての必要な講義コマ数とそれを誰が担当していくか。はじめてのことです。ほんとうに大変なことになりましたが、この計画を立てることが緊急の課題としてあるのです。

「風に立つライオン」の模擬授業、もう1本は、3.11の東日本大震災のときに母親を津波で亡くした娘さんの思いをつづった内容で家族愛の模擬授業、最後は、体育大会の長縄跳びを題材にした模擬授業です。このときは聴いてくれている若手の先生方を生徒に見立てて授業を行いました。授業後の感想を読ませていただき、改めて感じました。道徳は大きな力をもっている。その時の感想を一部、紹介します。

表1 2017年度教職課程登録者・内諾者・教育実習者数

	1年次		2年次		3年次		4年次			大学院		科目等履修生	
	仮登録	本登録	本登録	内諾	本登録	内諾	本登録	内諾	実習	内諾	実習	内諾	実習
法学部	62	27	21	6	43	0	9	0	0	0	1		
経済学部	90	29	44	9	61	2	13	1	0	0	2		
経営学部	20	12	15	2	14	0	1	0	0	0	0		
外国語学部	66	35	33	14	33	3	16	1	2	1	2		
人間科学部 (心理発達、 人間社会コース)	107	12	8	3	9	0	3	0	0	0	0		
人間科学部 (スポーツ 健康コース)		71	64	36	76	0	33	0	0	0	2		
理学部	97	74	88	12	97	11	13	1	3	0	2		
工学部	81	27	38	12	45	2	11	0	0	1	0		
計	523	287	311	94	378	18	99	3	5	2	9		

注：1.「内諾」は2018年度教育実習の「内諾」を示す。  
2.「実習」は2017年度教育実習を示す。

表2 2018年度教員採用者数

	在学生	卒業生
法学部	1	2
経済学部	1(1)	2
経営学部	0	0
外国語学部 (大学院生含む)	6(1)	8
人間科学部 (心理発達、 人間社会コース)	0	1
人間科学部 (スポーツ 健康コース)	4	11(1)
理学部	7(1)	7(1)
工学部	0	0
計	19(3)	31(2)

注：1.( )は内数で、私立学校採用者を示す。  
2.複数自治体等の合格者を含め、のべ人数で示す。

# 2017年度各課程活動報告

## 教職課程

2017年度の教職課程は、再課程認定申請および本学における2018年度授業時間の変更(90分15週から100分14週へ)への対応等が大きなテーマとなりました。さらに2020年度には新学部2021年度にみなどみらい新キャンパス開設の運びとなり、その準備に向けても始動し、さまざまな変革の渦中にある一年となりました(一面参照)。

特に2年次からは少人数指導を多く取り入れ、「教職論」や「教科教育法」では多くの実務家教員から教員の職務や各教科の指導法についてより実践的に学べるようになっていきました。また2年次終了までには免許教科に即した各種試験の合格が求められており学生たちにとって一つの山場となります。

さらに3年次は翌年度の実習に向けた学修が本格化します。とりわけ3年次後学期および4年次前学期の「教育実習指導Ⅰ・Ⅱ」は約1年をかけて教育実習事前・事後指導を継続的に行うもので、中・高等学校への授業見学による現場体験や「人権教育」はじめ防止の観点から、「教育と性」「ICT活用」、「生徒指導」等のテーマでの講演を含んでいます。

再課程認定申請に向けては、総合的な学習や特別支援教育に関する新たな科目の設置、また「教職に関する科目」と「教科に関する科目」の大きくくり化および教職課程コアカリキュラムを踏まえたカリキュラムに向け検討を重ねました。こうした動きは本学教職課程の教員養成に対する理念や構想を改めて確認し全学的な関心・意識をより高めることにつながっています。

授業運営においては、アクティブ・ラーニングを重視し学生に主体的な学びを促すとともに、外部講師による講演や学外での現場体験の機会を用意することにより、学生が教職に関する最新の知識や具体的な技能を身につけキャリアを展望することを目指しています。

## 教員採用試験対策

教員採用試験に向けては3年次のスタートガイドに始まり4年次の二次試験対策まで、専門教養・教職教養・論文文等の講座や模擬試験、面接、模擬授業等の対策を重ねて実施しています。今年度教員採用者数は1面の表に示す通り48名(うち現役合格17名)を把握しています。さらに臨時的任用職員や非常勤講師として教壇に立つ学生や再挑戦を目指す学生も含めて今後の活躍を期待しています。

## 教員免許状更新講習

8月4・5日には横浜キャンパスにおいて必修講習「教育の最新事情」・選択必修講習「学習指導要領の改訂の動向等」(本学は両方を2日間で受講)を実施しました。ラウンドテーブルにおいては受講される各先生方の教職生活の振り返りを聴き合い、また各講義についてもファシリテーターを交え熱心なディスカッションが繰り広げられ、年代や校種の異なる受講者同士が学び合い刺激し合う様子が見られました。

## 教育研究交流会および学校ボランティア報告会

2018年2月17日には横浜キャンパスにおいて、教職課程と卒業生教員の会である神大教員ネットワークの共催で教育研究交流会を行う予定です。第一部は、本学講師根岸久明氏に「子どもの現状と新学習指導要領の目指すもの」(道徳化に求められているものとその現実)をテーマに講演をお願いしています(一面参照)。氏は道徳教育の指導的立場を長く経験されており、先行実施(来年度小学校、平成31年度中学校)する道徳の特別教科化を含む新学習指導要領の方向性について学ぶ機会となります。第二部のラウンドテーブルでは、学生の学校ボランティア活動報告をもとに、教職課程協力校など学校関係者の方々、卒業生教員、学生(来年度採用予定者含む)、本学教員を交えてのディスカッションを行う予定です。本学教職課程に日ごろよりご協力頂いている方々への感謝の気持ちを込めて、参加者が学び、語り合い、交流を深める機会となることを願っております。

## 社会教育課程

社会教育課程では、①地域や社会の課題解決力、②おとな・子どもと関わる実践力、③公務員及び民間等の将来の仕事に役立てる、を目標として、可能な範囲で改善を図った。

(1)「社会教育実習」…7名の学生が各種社会教育施設で5〜10日の実習を行った。

等把握した上で実習に臨み、その成果をプレゼン発表した。実習後の学生の達成感・満足度は大きく、実りある実習となった。

(2)授業内外の実践的取り組み…「社会教育実習Ⅰ」では、近隣の地域ケアプラザや地区センターの祭りへの参画を行った。また、他学年の学生とともに、神大寺地区センターにて「クリスマスKIDS運動会」を企画運営し、授業外でも実践力を高めた。

(3)特別講義・履修者は公務員希望もいるが、企業等を志す学生も少なくない。そのため、現在の学びを将来に役立てるため、ゲストスピーカーを招待した。(株)スタッフサービスやNPO法人のキャリアアカウンセラ、某会社の地域活性化の担当者など、「人づくり」「地域づくり」につながる仕事に役立つ多くの情報交換を行うことができ、有意義な時間を持つことができた。

## 学芸員課程

本学の学芸員課程は、1985年度に開講されて今年で33年目となる。修了生には、博物館の現場で活躍されている方も数多くおり、「博物館実習Ⅱ」の館務実習・見学実習の場で、後輩をご指導いただき、といった機会も珍しくない。

本学学芸員課程の大きな特徴として、3年次に「博物館実習Ⅰ」を履修することが挙げられる。「博物館実習Ⅰ」では、古文書・民俗資料ないしは自然・文化史資料を取り扱う基礎的な技能や展示の方法などを、学内での実習によって習得することを目標としている。履修者は、そうした基礎的な技能や知識を習得して、4年次の「博物館実習Ⅱ」の館務実習に臨む

今後、カリキュラム改善を試みつつ、社会教育課程履修者の力量を高める努力をしたい。

齊藤 ゆか

また、「博物館実習Ⅱ」は、館務実習と見学実習で構成されている。後者では、複数の博物館を訪問して、学芸員の方にご案内をいただいている。通常の展示にとどまらず、それを支えるバックヤードまで見学させていただいており、普段は目にするこのない博物館の現場を学ぶ貴重な機会となっている。

2017年度は、湘南ひらつかキャンパスでは学部生11名、横浜キャンパスでは学部生9名・大学院生2名の合計22名が「博物館実習Ⅱ」を履修した。館務実習にご理解とご協力をいただいた各機関および担当職員の皆様に心より感謝を申し上げるとともに、今年度の修了生全員の今後の活躍に期待したい。

大川 啓

## 日本語教員養成課程

日本語教員養成課程では、国内外の日本語教育に寄与することのできる人材の育成を目指している。国内の外国人は約247万人、そのうち留学生は約29万人(法務省2017年6月末)、海外の日本語学習者は約365万人である(国際交流基金2015年度調査)。日本語学習者は、年齢、母語、学習経路、学習目的、日本への興味関心などの点で極めて多様で

ある。

大学の位置する神奈川県には外国人集住地域が複数あり、市民や行政も多文化共生に積極的に取り組んでいる。また、日本語学校も多数存在するなど、日本語教員養成という点では豊かな環境に恵まれている。

2017年度は、国内の日本語学校における留学生教育と「生活者としての外国人」のための日本語学習支援を2つの柱として日本語教育実習を実施し、

6名が実習に参加して本課程を修了した。4名が飛鳥学院(横浜市中区)で1週間の教育実習を、2名が川崎市ふれあい館(川崎市川崎区)で週1回、計10回の日本語学習支援型の教育実習を行った。飛鳥学院では、国内の日本語学校における典型的な授業を経験させていただいた。川崎市ふれあい館では、ニューカマーの中学生を対象とした初期日本語指導と教科学習支援に参加させていただいた。実習生は留学生や

子どもたちの来日経緯やアイデンティティ、多文化共生に関する理解を深めることができたと思う。

2名が日本語教員の道を選んだが、ほかの学生は一般企業に就職する。地域や企業内の国際化が進む中、本課程で学んだ知識・スキル・多文化共生に関する考えなどを各々の持ち場で活かしてもらいたいと切に願う。実習校の先生方の細やかな指導に心から感謝申し上げます。

富谷 玲子



ミニゼミ報告会の様子「教職実習演習(中学・高校)」

荻野 佳代子

教職課程 教育実習記録より

2017年度、教職課程では113名が教育実習を行いました。「教育実習記録」に記載された実習生の振り返りや気づき、指導教諭からの厳しくも温かい指導・助言のなかからいくつかをご紹介します。

率直な感想は「あつという間に」過ぎてしまったという事です。教員にはやるべき仕事がたくさんあります。朝登校し、授業準備、校門前挨拶、ホームルーム、そして授業があります。息抜きをする暇は全くありません。部活動が終わると指導案作りと授業準備、教材研究です。実際教員

体を動かした10日間 | 博物館実習を終えて |

人間科学部人間科学科4年 佐藤 夏美

川崎市立日本民家園にて館務実習を行った。民家園は日本各地の古民家を移築し、復原保存している野外博物館である。建物やそこに根付く伝統的生活文化を展示・保存しており、古民家は国や県の文化財に指定されている。

実習は、歌舞伎公演や特別展示である雪囲といった企画に関する内容と、通常の園内業務に関する内容が中心であった。体を動かして複数人で行う作業が多く、物を運んだり高所の作業を行う際は、文化財・来園者・自分の安全のため声を出して相手とコミュニケーションを取る事が求められた。文化財で作業することに緊張も

が強まりました。



★ ボランティアで授業をサ

ポートするのは、自分が授業を行うのでは大きく違いました。話し方や選ぶ言葉一つで生徒のとらえ方や行動が変わるということを知りました。自分が思っている以上に丁寧で、不足なく伝えなくては行けません。言葉足らずで生徒を困惑させてしまう時もありました。淡々と伝えてしまったことで生徒が内容を受け止めきれない時もありました。教員になった時にはまず気をつけたいと思います。先生方を見ていて、信頼

日本語教育実習を終えて | 自分らしい日本語教師とは |

外国語学部国際文化交流学科4年 大谷 みな

11月13日から17日まで、飛鳥学院という日本語学校にて日本語教育実習を行った。実習生は私を含めて4人で、2クラスに分かれて実習をした。実際に授業を行ったのは火曜日と金曜日の2回、それぞれ30分ずつであった。その他の日は、初級から上級までのクラス見学をさせて頂いた。

1回目の実習では教案通りに授業を進めることに必死になってしまい、上手くいかず、多くの反省点があった。そのため2回目の実習では反省点を改善するよう努めた。その結果、反省点は沢山あるものの、「1回目よりも良い」という評価を頂けた。少しではあるが、成長できたと感じ

教育実習記録 指導助言欄より

教科指導においては思い

3週間の実習の中で良い点を2つ感じました。1つは意欲。授業をわかりやすく教えるために費やす時間を惜しまない点は素晴らしい。教員にとって1番大切な資質だと思います。2つ目は改善する力です。誰もが最初はうまくいきませんが、そのなかでどのように改善しより良い授業を作っていくのかが重要です。多くの先生に助言をもらいながら改善ができていた理由を考えると謙虚な心があったのだと思います。この姿勢をこの先何十年も忘れないことが教員としての成長に大きく関わってきます。

社会教育実習からの学びとチャレンジ

人間科学部人間科学科2年 戸本 優

私は、国立中央青少年交流の家という青少年教育施設で、計7日間(2017年6月17・18、8月19・23日)の学外実習を行った。実習内容は、前半の2日間でボランティア養成研修に参加し、後半の5日間でイングリッシュキャンプの運営に参与した。

イングリッシュキャンプとは、小学5・6年生を対象に行われた事業で、交流の家の隣にあるキャンプ富士のアメリカ軍の海兵隊の方々と交流するというプログラムである。私は、この事業ではゲームの企画を担当した。企画をする上では、「わかりやすさ」、「対象者

神奈川大学 心理・教育研究論集 発行 神奈川大学教職課程研究室 第42号

第43号

### 後輩へのメッセージ ～教員採用試験合格者より～

**埼玉県 小学校 合格**  
**「挑戦する気持ちを大切に」**  
 法学部自治行政学科4年 大沼 賢治

大学生活を振り返ると、多くのことに挑戦した4年間でした。中でも学校ボランティアへの挑戦は、自身を大きく成長させてくれました。

学校ボランティアでは、アシスタントティーチャーとして現場の先生や児童と触れ合うことができました。ボランティアをする中で、児童との関わり方や指導の仕方の工夫など多くのことを学びました。特に印象に残っているのは、自分の関わった児童の「できないこと」を目的当たりにしたときでした。その時は、とてもうれしく、児童の成長を間近に感じることができました。

学校ボランティアは実際の教育現場を肌で感じることで、大学での勉強だけでは決して学ぶことのできない貴重な経験となりました。この経験を生かして、教師になつてからも多くのことに挑戦しようと思います。

後輩の皆さん、学校ボランティアに限らず、挑戦した数だけ成長できるので、ぜひ失敗を恐れずに、挑戦する気持ちを大切にしてください。

学校ボランティアに挑戦しなければ、こうした教師の良さに気づくことはなかったかもしれません。学校ボランティアは実際の教育現場を肌で感じることで、大学での勉強だけでは決して学ぶことのできない貴重な経験となりました。この経験を生かして、教師になつてからも多くのことに挑戦しようと思います。

後輩の皆さん、学校ボランティアに限らず、挑戦した数だけ成長できるので、ぜひ失敗を恐れずに、挑戦する気持ちを大切にしてください。

**横浜市 中学校 英語 合格**  
**「大切な学生生活」**  
 外国語学部英語英文学科4年 原 亜由美

大学生の間にいろいろな経験をしておこう。時間があるのは今のうちだ。そう思い、様々なものに参加してきました。部活、ボランティア、大学での行事、アルバイト、旅行など経験しました。経験した分だけ、

大切にしていきたいと思えます。

この気持ちを忘れずに、教師になつてもたくさんの方々の経験を、仲間と成長させていきます。

教員を目指している皆さん、経験を大切に楽しんでください。限りある学生生活を大切に過ごしてほしい。

学校ボランティアに挑戦しなければ、こうした教師の良さに気づくことはなかったかもしれません。学校ボランティアは実際の教育現場を肌で感じることで、大学での勉強だけでは決して学ぶことのできない貴重な経験となりました。この経験を生かして、教師になつてからも多くのことに挑戦しようと思います。

後輩の皆さん、学校ボランティアに限らず、挑戦した数だけ成長できるので、ぜひ失敗を恐れずに、挑戦する気持ちを大切にしてください。

**神奈川県 高校 英語 合格**  
**「人生を変えた4年間」**  
 外国語研究科欧米言語文化専攻博士前期課程2年 横澤 聡子

教員を志し本学大学院に進学してから4年が経ち、そして来年からはずっと夢見てきた教壇という舞台に教員として立てるのかと思うと、何とも言えないものが内から込み上げてくるのを感じます。ここまで来ることができたのは、他でもない教職課程や教科教育法やゼミで志を共にする仲間と学び、そして素晴らしい先生方が導いて下さったからこそです。ゼミの高橋一幸先生をはじめ、教職課程でのご指導下さった先生方からは教科そのものはもちろんのこと、教師としての姿勢から学びます。

また、共に学んできた同志たちも皆それぞれ「こんな先生が学校にいたら良いだろうな」と思う仲間ばかりで、彼らからも大変多くの事を学びました。本当に恵まれた4年間であったと心から思います。4月からは新たな環境で、思い通りにならない事や悩み苦しむ事もあるかもしれませんが、初心を忘れず成長し続けられる教師であれるよう精進していきたいと思えます。

**滋賀県 高校 保健体育 合格**  
**「10年前の夢をかなえた今」**  
 人間科学部人間科学科4年 田井中 舞歌

12歳のとき「世界一カッコいい体育教師になる！」と決意してから早10年。そのスタートラインに立てる

とあります。その中で必ず辛い時は来ると思えます。その中で楽しく過ごせるかを考えて過ごしたらきっと楽しくなると思います。どうしても辛くなったら、仲間がいます。仲間を大切に、切磋琢磨しながら夢の実現のために頑張ってください。

2つ目はたくさんの方に挑戦し続けてください。挑戦することは多大な勇気が必要としますが、それ以上に自分自身を成長させてくれます。失敗したことも成功したことも含め、それらの経験は全て将来教壇に立つとき必ず役立つものだと思います。まずは自分にできそうなことから挑戦してみてください。

最後に、私はたくさんの方に支えられ合格することができました。その方々への感謝を忘れず、これからも謙虚な姿勢で学び続け、地元の高校生たちに勇気と元気を与えられるような体育教師になりたいと思います。

**神奈川県 三重県 中学校 理科 合格**  
**「長所を磨く」**  
 理学部数理解・物理学科4年 松本 大輝

「先生は、これからも変わらず先生のままでいてほしい」この言葉は、私が教育実習の最終日に生徒から言われた一言です。この一言を私はとても大切にしています。

私は、話をすることが得意ではありません。授業が上手いわけでもありません。知識が豊富なわけでもありません。正直私は教員に向いていないのではないかと考えることもあります。もしかしたらこれを読んでいる皆さんの中にも同じような悩みを抱えている人がいるかもしれません。でも大丈夫です。苦手だらけの私でも教員になれました。

それは生徒からの一言で今の自分を大切にしようと感じることができたからだと思います。後輩の皆さん、苦手な事があっても大丈夫です。その代わりに自分の長所を見つけて磨いていってください。私は生徒と関わる事が好きなのが長所です。皆さんにも一人ひとりいろんな長所があると思います。話をすることが得意だったり、教えることが得意だったり、子供が好きだったり。今見つけられないからと焦る必要はありません。皆さんの長所を見つめる時間も磨いて行ける環境が大学生の皆さんの周りにはあふれています。

「合格」を手にした瞬間は今でも忘れることができません。卒業間近の私から皆さんに2つだけ伝えたいこ

2017年度  
**資格教育課程協議会**  
 ※は運営委員

**会長**  
 【教職課程】  
 ※大西 勝也

**副会長**  
 【日本語教員養成課程】  
 ※富谷 玲子

**【教職課程】**  
 古屋喜美代  
 澤田 敏志  
 荻野佳代子  
 間山 広朗  
 横溝 亮一  
 加藤美智子  
 関口 昌秀  
 望月 耕太

**【社会教育課程】**  
 ※齊藤 ゆか

**【学芸員課程】**  
 ※大川 啓  
 安室 知  
 田上 繁  
 廣田 律子  
 ※加瀬 友喜  
 金沢 謙一

**担当事務職員**  
**【資格教育課程課】**  
 八重樫典子  
 佐武亜紀子  
 里村 友実  
 佐野 恭平

**【平塚教務課】**  
 小川 繁弘

生の、長年の貢献に感謝申し上げます。

今年度も多くの学生が、資格教育課程の履修を通じて新たな気づき・成長を実感したようです。それは、学生自身のみならず資格教育課程教職員の手応えでもあります。これからも資格教育課程は、学生達に寄り添い成長支援に貢献したいと思っています。

荻野佳代子・箕村雄也

**編集後記**

これまで特任教授として教科教育法、教職論等をご指導いただきました澤田敏志先生が今年度で任期を終えられます。先生は社会科学部論および附属中・高等学校長のご経験をもとに、教育実習指導および教員採用試験対策などにも尽力下さりました。本学卒業生でもいらつしやる先

す。利用出来るだけ利用して良い先生を目指して頑張ってください。



教員採用試験対策講座の様子